

平成30年度事業報告書

I 事業報告

1 事業概要

平成30年度の日本経済は、企業収益が高水準で推移し、設備投資の増加とともに、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが続くなど、経済の好循環が着実に回りつつある中で、緩やかな回復が続いた。

埼玉県内の景気は、緩やかな回復が続いているものの、県内中小企業の景気の先行き予測については、やや慎重さがみられた。

このような中、当社は、今後の成長が期待される産業の振興や、企業の国内・海外での販路開拓支援など、中小企業の発展と県内産業全体の活性化に資する様々な事業の展開に努めた。

平成30年度に実施した主な取組の概要は以下のとおりである。

(1) 企業支援

① 経営支援

自社の現状分析や課題の整理、業績や経営資源の向上など、県内中小企業が抱える様々な課題に対応するため、企業からの各種相談に応じたほか、専門性が高い課題の解決を支援するため専門家派遣を実施した。

② サービス産業の振興

サービス産業事業者を対象にICT活用アドバイザーが、集客・売上拡大や生産性向上のためのICT導入・活用についてアドバイスを実施した。

(2) 創業・ベンチャー支援

創業予定者や新規創業者を対象とした相談業務や、各ステージに合わせた創業セミナーを開催するとともに、ベンチャー企業の成長を促進するためセミナー等を開催した。また、国の補正予算により創設された創業補助金の地域事務局（埼玉事務局）を運営した。

(3) 販路開拓支援

① 取引振興

さいたまスーパーアリーナを会場とする大規模な展示商談会や、近県と連携した広域的な商談会、県内各地域での商談会などを幅広く開催するとともに、職員等が発注企業を巡回訪問して新規発注案件を発掘し、受注企業とのマッチングを図った。

② 航空・宇宙産業への参入支援

今後成長が期待できる航空・宇宙産業への参入を促進するため、国内外の展示会への出展や航空機部品を製造する際に必要な資格取得を支援するとともに、販路開拓につながる航空機メーカーなどとのマッチングを実施した。

③ 海外展開支援

県内中小企業の海外市場への進出を支援するため、実務経験豊富なアドバイザーによる貿易投資相談や様々なセミナー、情報交換会を実施したほか、中国・アセアン等新興国において商談会や交流会等を開催した。

(4) 新産業振興

① 先端産業支援

「医療イノベーション」、「新エネルギー（次世代住宅）」、「ロボット」などの先端産業に取り組む企業を支援するための総合相談窓口を開設するとともに、各分野のプロジェクト等を実施することで実用化・製品化開発を支援した。

② 中小企業IoT活用支援

県内中小企業がIoTを活用して生産効率化などに取り組むための総合相談を実施した。また、IoT活用の普及・啓発を図るためのセミナーやAI・IoTに関する若手の人材育成をはじめとしたIoT人材育成講座を開催するとともに、IoTを活用して生産性向上や付加価値向上につなげる仕組みを構築するための経費の一部を補助した。

③ 産学連携支援

県内中小企業やベンチャー企業の研究開発と大学や研究機関等の研究分野をマッチングさせるため、相談窓口を開設するとともに、競争的研究資金の獲得を支援するなど、産学連携による研究開発を総合的に支援した。

④ 知的財産支援

県内中小企業等の知的財産の創造・保護・活用を促進するため、ワンストップで知的財産に関する相談に対応するとともに、弁理士等の専門家を企業に派遣し、個別課題の解決を支援したほか、知的財産に関する啓発や知識の向上を目的としたセミナーなどを実施した。

⑤ 次世代自動車産業支援

県内の自動車関連企業に対し、次世代自動車の技術研究や既存自動車の高効率化、軽量化に向けた技術開発、製造現場の改善、国内外の自動車メーカー等への販路拡大などを総合的に支援した。また、県内中小製造業を対象に「埼玉県中小企業のEVシフト対応に関する調査」を実施した。

(5) 人材育成・情報支援

各階層別の研修や実務的な研修を総合的・体系的に実施し、県内中小企業の人材育成を支援するとともに、情報誌やセミナーなどを通じて企業経営に役立つ情報を幅広く提供した。また、ICTコンサルティング等を実施して中小企業におけるICTの有効活用を支援・促進した。

2 評議員会開催状況

日付	事項	摘要
平成30年 4月 1日	第1回評議員会	理事の選任
平成30年 6月 6日	第2回評議員会	平成29年度事業報告及び決算 並びに評議員及び理事の選任

3 理事会等開催状況

日付	事項	摘要
平成30年 4月 1日	第1回理事会	理事の選任
平成30年 5月15日	監事監査	平成29年度事業報告及び決算報告の監査
平成30年 5月21日	第2回理事会	平成29年度事業報告及び決算等
平成30年 6月5日	第3回理事会	評議員の選任
平成30年 6月6日	第4回理事会	理事長及び専務理事の選定
平成30年10月24日	第5回理事会	平成30年度事業中間報告及び 理事長専決事項の報告
平成31年 3月19日	第6回理事会	令和元年度事業計画及び予算 並びに令和元年度事業費の借入限度額

4 評議員の異動状況

就 任

役 職 名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
評議員	三 村 喜 宏	平成30年6月 6日	

退 任

役 職 名	氏 名	退 任 年 月 日	備 考
評議員	大久保 義 海	平成30年6月 6日	

5 役員の異動状況

就 任

役 職 名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
理 事	中 嶋 賢 一	平成30年4月 1日	
理 事	横 井 博 之	平成30年6月 6日	

退 任

役 職 名	氏 名	退 任 年 月 日	備 考
理 事	岡 橋 達 哉	平成30年4月 1日	
理 事	太 田 昇	平成30年6月 6日	

Ⅱ 事業実施状況

1 企業支援

(1) 経営支援

① 経営相談の実施

職員等による窓口相談、弁護士による法律相談を実施した。

相談件数	主な相談内容	
2, 106件	経営全般（下記以外を含む）	1, 115件
	取引適正化	410件
	I S O	165件
	I T活用	136件
	B C P	129件
	技術	78件
	マーケティング	73件

② 事業承継の支援

事業承継コーディネーターを配置するとともに、弁護士や税理士等による専門的な相談に対応した。また、支援機関職員等を対象とした研修会を実施した。

ア 事業承継相談

区分	相談件数
事業承継コーディネーターによる相談	203件
専門家による相談	15件

イ 支援者向け研修会

開催日	テーマ	講師	参加者数
5月30日	掘り起こしのための事業承継ヒアリング手法	富永 治 氏 (独)中小企業基盤整備機構 関東本部 事業承継コーディネーター	52人
12月 3日	経営者が“後悔を残さない”事業承継手法	長坂 道広 氏 (株)事業承継ナビゲーター 代表取締役副社長	52人

ウ 事業者向けセミナー

開催日	テーマ	講師	参加者数
7月27日	計画的に事業承継に取り組もう	錦織 博司 氏 他 税理士法人山田&パートナーズ	69人
8月21日	速報 平成30年度税制改正	小林 貞夫 公社 事業承継コーディネーター	10人
10月 1日	平成30年度税制改正のポイント	小林 貞夫 公社 事業承継コーディネーター	15人
11月28日	平成30年度税制改正のポイント	小林 貞夫 公社 事業承継コーディネーター	9人
2月27日	大切な会社を次世代へ	湊 信明 氏 弁護士 湊総合法律事務所	20人

③ 支援専門家の派遣

ア 専門家派遣を行うため、支援専門家の登録を実施した。

支援専門家の登録者数	内 訳	
735人 (平成31年3月末現在) *複数資格保有者がいるため、登録者数と内訳の合計は一致しない。	中小企業診断士	288人
	企業等OB人材	256人
	技術士	58人
	マネジメントシステム専門家	53人
	IT関係専門家	51人
	公認会計士・税理士	44人
	社会保険労務士	37人
	弁護士・司法書士・弁理士	28人
	販売士	24人
	一級建築士	2人

イ 経営、技術、情報などに関する課題解決のため、支援専門家を活用して診断助言を実施した。

(ア) チーフマネージャー、マネージャーの配置 4名

(イ) 支援企業数、派遣日数等

支援企業数	派遣日数	主な支援テーマ
45社	246日	・少量多品種生産における工程改善及び生産性向上 ・サイクルタイム短縮と品質安定化 ・ユニバーサルデザインバッグの商品開発及び販売戦略 など

ウ 経済産業省関東経済産業局で実施している「地域プラットフォーム事業ミラサポ」の専門家派遣を活用して、経営革新に取り組む中小企業に対して診断助言を実施した。

支援企業数	派遣日数	主な支援テーマ
67社	138日	・事業承継として株式公開の検討 ・ITを活用した生産性向上 ・就業規則見直し など

④ 事業継続計画（BCP）導入支援

災害等の発生時に迅速な事業復旧を進めるため、中小企業における事業継続計画（BCP）の普及啓発及び策定支援を実施した。

セミナーの開催

開催日	テーマ	講師	参加者数
9月10日	実践！BCP策定講座（第1回）	村田 成巳 氏	34人
9月26日	実践！BCP策定講座（第2回）	村田 成巳 氏	28人

⑤ マネジメントシステム導入支援

ア マネジメントシステム導入支援

ISO等のマネジメントシステムを構築しようとする中小企業へのコンサルティングを実施した。

事業名	実績	概要
マネジメントシステム導入支援	17社	派遣回数 107回 <支援先内訳> ISO9001 6社 BCP(中小企業庁版) 11社

イ ISOフォローアップ支援

ISO認証取得企業へのフォローアップを実施した。

事業名	実績	概要
ISOフォローアップ支援	7社	派遣回数 41回
		<支援先内訳>
		ISO9001 4社 ISO9001とISO14001の統合 3社

ウ 環境法規制関連情報提供

公社会員を対象に、環境法規制の関連情報を提供した。

利用会員数
77社

⑥ 若手経営者支援【フォース21】

県内中小企業の後継者・若手経営者の交流クラブ「フォース21」を運営し、経営トップとしての資質の向上、人的ネットワークづくりや情報収集体制の構築等について支援するため、定例会及びテーマ別研究会を開催した。(平成31年3月末現在10グループ、120名)

内容	実績
定例会の開催	3回
テーマ別研究会の開催	
精神修行研究会	1回
バイオミメティクス(生物模倣技術)	1回
グループ別例会	49回

⑦ 経営診断等事業

公所在籍の中小企業診断士を活用し、川口市、戸田市から中小企業の診断業務等を受託した。

事業名	実績	概要
地域貢献事業者診断	7件	企業 7社
起業個別相談会	12日	相談件数 14件

⑧ フードビジネスの支援

県の主要産業である食品関連産業のさらなる成長を支援するため、業界動向の提供や企業間交流を促進した。

セミナー・交流会の開催 2回

⑨ よろず支援拠点事業

県内中小企業・小規模事業者の経営支援体制をさらに強化するため、国の中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業を受託し、埼玉県内の「よろず支援拠点」の実施機関として、総合的・先進的経営支援を実施した。

ア チーフコーディネーター、コーディネーターの配置	18名
イ よろず支援拠点相談対応件数	9,547件
ウ よろず支援拠点課題解決件数	1,721件

⑩ 中小企業高度人材支援事業（プロフェッショナル人材戦略拠点）

県内中小企業が、高度な「プロフェッショナル人材」を活用して、新たな取組に積極的に挑む「攻めの経営」へ転換し、経営革新を進めることを促進するため、プロフェッショナル人材戦略拠点を運営し、人材のマッチングをサポートした。

ア マネージャーの配置	5名
イ 相談件数	562件
ウ マッチング成約件数	121件
エ セミナーの開催	4回

⑪ 上尾市企業連携コーディネーター事業

上尾市との委託契約により、上尾市内の中小製造業者を中心とした県内製造業者を対象に、企業が連携して行う新製品開発や一貫受注の取組を支援するとともに、個別企業が抱える課題の解決を図った。

ア 企業連携コーディネーターの配置	2名
イ 企業訪問	10社
ウ 新製品開発（改良品を含む）	4件

(2) サービス産業の振興

① サービス産業ICT活用支援

サービス産業事業者向けに具体的なICT導入方法や活用事例を見える化、ICT活用効果の理解拡大を図り、サービス産業事業者のICT導入を推進した。

ア アドバイザーの配置	3名
イ 相談件数	210件
ウ セミナーの開催	6回

2 創業・ベンチャー支援

創業予定者や新規創業者、ベンチャー企業の成長を支援するために「創業・ベンチャー支援センター埼玉」を運営し、利用者の各ステージに合わせた様々な相談業務を行った。

また、創業に必要な知識を体系的に学ぶためのセミナーの開催や、ベンチャー企業の成長を促進するためにビジネスマッチングを図った。

① 創業相談支援

創業前、創業時、創業後の相談者の各ステージの課題解決を図るため、経験豊富な開業アドバイザー（8人）などを配置して相談に対応するとともに、より専門的な相談に対しては、司法書士や税理士等の士業団体との連携による専門相談会を実施した。

ア 相談件数

	実績
相談件数	2,934件 (うち 専門相談 29件 女性創業相談 1,667件)

イ 公的融資申請支援件数

内 容	申請受付件数
埼玉県制度資金	17件
日本政策金融公庫	36件

ウ 創業件数

	実 績
創業件数	207件

図1：相談内容区分

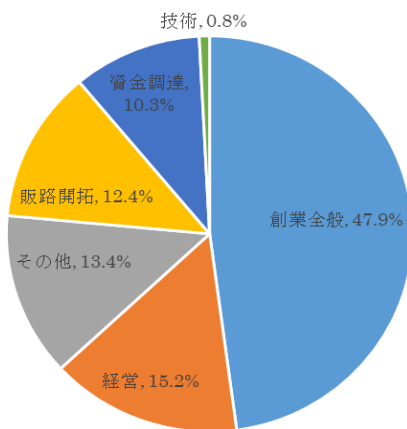
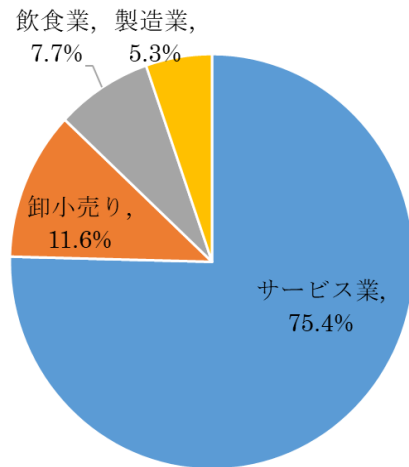


図2：創業者の業種区分



② セミナー等の開催

創業までの心構えから創業後のマーケティング等まで、創業の各ステージに合わせたセミナー等を開催した。

内 容	開 催 日	参加者数
起業実務手引きセミナー	① 4月14日	35人
	② 7月7日	37人
	③ 1月26日	23人
起業へ一歩前進セミナー	① 4月18日	12人
	② 1月16日	14人
売上アップ！「新規開拓営業セミナー」	① 4月24日	23人
	② 9月6日	12人
顧客に選ばれる商品・サービスPR法セミナー	5月11日	7人
起業準備セミナー（棚卸編）	① 5月19日	14人
	② 7月21日	20人
	③ 11月17日	17人
	④ 2月23日	10人
マーケティングセミナー（戦略編）	① 6月16日	16人
	② 1月12日	22人

内 容	開 催 日	参加者数
起業準備セミナー（ビジネスプラン作成編）	① 6月30日 ② 9月15日 ③ 12月 8日 ④ 3月16日	15人 18人 28人 34人
マーケティングセミナー（戦術編）	① 7月14日 ② 2月 9日	27人 33人
シニア起業入門セミナー in 熊谷	7月14日	87人
シニア起業入門セミナー in 春日部	7月28日	85人
シニア起業入門セミナー in さいたま	① 8月18日 ② 10月20日	162人 225人
ビジネス成功プロセス見える化セミナー	8月21日	27人
私にもできる！お客様を呼び込む商売繁盛のためのA4チラシ作成術	8月29日	27人
シニアのための起業はじめ方セミナー in 三郷市	9月 5日	9人
埼玉シニア起業塾（第1回）	① 9月15日 ② 9月29日 ③ 10月 6日	74人 50人 38人
売上アップのためのインターネット活用 セミナー	① 9月28日 ② 3月20日	33人 40人
人を雇うときの心得セミナー	10月10日	13人
シニアのための創業スクール実践編 （第1回）	① 10月13日 ② 10月20日 ③ 11月10日 ④ 11月17日	17人 14人 12人 11人
ネットショップ開業基礎セミナー	11月 7日	29人
埼玉シニア起業塾（第2回）	① 11月24日 ② 12月 1日 ③ 12月 8日	83人 69人 58人
クラウドワーキングスタートアップ セミナー	① 11月24日 ② 12月 1日 ③ 12月 8日	115人 78人 61人
初めての経理を学ぶセミナー	12月15日	33人
ゼロからはじめるWeb集客術セミナー	1月11日	31人
シニアのための創業スクール実践編 （第2回）	① 1月19日 ② 1月26日 ③ 2月 2日 ④ 2月16日	29人 24人 22人 18人
シニア起業入門セミナー in 川越	1月26日	170人

内 容	開 催 日	参加者数
書いて納得！はじめての確定申告 セミナー	1月30日	22人
埼玉シニア起業塾（第3回）	① 2月 9日 ② 2月23日 ③ 3月16日	80人 78人 64人
人材採用と人財育成のコツ教えます！ セミナー	2月13日	10人
起業のヒントを学ぶセミナー	2月20日	16人
計	57回	2,431人

③ 女性の創業支援

ア 女性起業支援施設の運営

「女性起業支援ルームCOCOオフィス」を管理・運営し、アドバイザー（2名）により利用者からの相談に対応するとともに実践的なセミナーを開催した。

(ア) 利用者数	23名（3月31日現在）
(イ) 相談件数	177件（女性創業相談を含む）
(ウ) COCOセミナー等	10回 参加者数 57名
(エ) ウーマンビズフェスタ内セミナー	2回 参加者数 36名

イ 女性創業支援チームの運営

女性創業支援アドバイザー（3名）などを配置し、女性のビジネスの立ち上げ時から成長期までの創業相談などに対応した。

相談件数 986件（女性創業相談を含む）

ウ 女性創業スタートアップ塾

開 催 日	延べ参加者数	会 場
6月14日～7月12日（5日間）	62人	東上パールビルディング （川越市）
1月24日～3月 7日（5日間）	117人	新都心ビジネス交流プラザ （さいたま市）

エ 女性のためのホームページ制作&活用セミナー

開 催 日	参加者数	会 場
2月 5日～3月 7日（3日間）	65人	新都心ビジネス交流プラザ （さいたま市）

オ 市町村等連携女性プチ起業セミナー

市町村	開 催 日	参加者数	会 場
熊谷市	5月22日	27人	埼玉県立熊谷図書館
東松山市	5月25日	13人	東松山創業支援センター
小川町	5月29日	19人	リリックおがわ

市町村	開催日	参加者数	会場
入間市	6月4日	22人	入間市産業文化センター
三郷市	7月11日	22人	三郷市商工会館
川口市	10月10日	50人	メディアセブン
狭山市	11月1日	15人	狭山市産業労働センター
白岡市	11月19日	22人	はびす白岡
公益財団法人 いきいき埼玉	11月28日	34人	県民活動総合センター
さいたま市	11月30日	32人	さいたま市立中央図書館
鴻巣市	12月7日	15人	鴻巣市市民活動センター
川口市	12月14日	12人	鳩ヶ谷駅市民センター
上尾市	1月18日	13人	プラザ22
寄居町	2月15日	12人	寄居町商工会館
蓮田市	3月8日	23人	蓮田市中央公民館
川島町	3月20日	10人	川島町役場

④ ベンチャー成長支援

ア 彩の国ベンチャーマーケットの開催

資金調達や販路開拓、事業提携などの課題を抱えるベンチャー企業を対象に、ベンチャーキャピタルや金融機関、大手企業、行政機関等との出会いの場を設け、ビジネスマッチングを図った。

開催日	事業名	支援企業数	来場者数
1月31日	彩の国ベンチャーマーケット	6社	97人

イ ベンチャー支援セミナーの開催

独創的なビジネスモデルや経営戦略を実践している起業家や経営者を講師に迎えたセミナーを開催した。

開催日	内容	参加者数	備考
2月1日	【「論語と算盤」塾】 「創意と情熱の経営革命」 ～赤字会社 再建の軌跡～ 講師：株式会社 ゴトウ 経営 代表取締役社長 後藤 昌幸 氏	40人	共催：新都心ビジネス交流 プラザ運営協議会

⑤ 創業補助金埼玉県事務局運営

国の平成24年度及び平成25年度補正予算により創設された創業補助金の地域事務局を運営した。

3 販路開拓支援

(1) 取引振興

① 取引情報の収集・提供

厳しい経営環境下にある受注企業の取引機会の拡大を図り、健全な発展を促進するため、積極的な企業巡回訪問により受発注ニーズの把握に努めるとともに、発注企業の外注計画や受注企業の設備状況等に関する調査を実施した。また、中小企業が抱える取引上の様々な相談に対応し、下請取引の適正化を図った。

ア 受発注企業の登録促進

発注・受注企業の登録状況 (単位：社)

区 分		発注企業	受注企業	合 計
29年度末の登録		1,768	3,193	4,961
30年度中 の増減数	新規	28	26	54
	削除	23	66	89
30年度末の登録		1,773	3,153	4,926

受発注企業巡回訪問の状況

事業名	実績	概 要	
受発注企業巡回訪問	543社	アドバイザーによる巡回訪問	319社
		職員による巡回訪問	224社

イ 調査情報提供

取引あっせん・紹介を行うための基礎情報として、主要発注登録企業における外注計画等の動向を把握するための調査や、受注登録企業における最新の設備・取引状況等の実態を把握するための調査を行った。

事業名	実績	概 要
新規外注計画調査	2回	発注企業を対象に新規外注計画等を調査 ① 5月24日～31日 調査対象企業 930社 回答企業 114社 (回答率12.3%) うち発注希望あり80社 (70.2%) ② 1月16日～25日 調査対象企業 928社 回答企業 156社 (回答率16.8%) うち発注希望あり112社 (71.8%)
受注登録企業設備調査	1回	受注登録企業を対象に保有設備等を調査 12月14日～21日 調査対象企業 1,046社 回答企業 264社 (回答率25.2%)

ウ 企業情報の発信

インターネットを利用して広域的な受発注取引の促進や新たな取引機会の拡大を図るため、情報発信を希望する企業を公社のホームページに掲載した。

内 容	実 績	概 要
企業情報の発信	887社	公社ホームページに企業情報を掲載

エ 異業種グループ支援

異業種グループの定例会等に参加し、情報提供とともに中小企業のニーズ把握に努めた。

オ かけこみ寺相談事業

下請取引に関する様々な相談に応じた。

相談件数	主な相談内容
410件	代金支払遅延、契約解消 ほか

② 展示商談会の実施

受注企業の取引機会の確保を図るため、さいたまスーパーアリーナを会場として中小企業の加工技術・製品等を展示し広くPRする「彩の国ビジネスアリーナ2019」を実施した。

また、関東5県ビジネスマッチング商談会、九都県市合同商談会を実施して広域的な取引機会の拡大を図った。

ア 商談会の開催等

事 業 名	実 績
彩の国ビジネスアリーナ 2019	1月30日～31日 さいたまスーパーアリーナ 出展数 772小間（企業、団体、グループ614社） 来場者 17,192人
広域商談会	関東5県ビジネスマッチング商談会 9月4日 東京ビッグサイト 発注企業 127社／受注企業232社うち県内52社 商談件数 336件 九都県市合同商談会 1月24日 幕張メッセ 発注企業 95社／受注企業214社うち県内51社 商談件数 197件
展示会出展支援	機械要素技術展 6月20日～22日 東京ビッグサイト 出展企業 10社 商談件数 1,216件 ASTEC2019（先端表面技術展） 1月30日～2月1日 東京ビッグサイト 出展企業 4社 商談件数 322件
地域別商談会	西部地域ミニ商談会 9月27日 ホテル・ヘリテイジ飯能Sta. 発注企業 27社／受注企業 30社 商談件数 149件 川口市受発注企業商談会 10月26日 埼玉県産業技術総合センター 発注企業 12社／受注企業 27社 商談件数 80件

事業名	実績
地域別商談会	県央・利根地域 広域ビジネス商談会 10月16日 上尾市文化センター 発注企業 10社/受注企業 28社 商談件数 66件
	東部地域ビジネスマッチングフェア 2月25日 ふれあいキューブ 発注企業 9社/受注企業 24社 商談件数 49件

③ 取引あっせん

企業からの取引あっせん依頼への対応、展示商談会の実施等により、128件の取引を成立させた。

あっせん件数及びあっせん結果

(単位：件)

あっせん件数			あっせん結果			
本年度	前年度からの繰越分	合計	成立	不成立	折衝中	合計
3,143	3,118	6,261	128	2,509	3,624	6,261

(2) 航空・宇宙産業への参入支援

① 航空機関連セミナーの開催

航空機産業への参入を促進するために、技術動向や参入に関するセミナーなどを実施した。

事業名	実績
航空機産業参入研究会	7月6日 テーマ 「埼玉県航空機産業参入研究会における支援活動状況と今後の取組について」 「航空機産業参入へのアプローチ事例」 「全国航空機クラスター・ネットワークの現状と航空機産業関連施策」 参加者 21社・25名
	9月28日 テーマ 「航空機エンジン産業の最新動向と今後の展望」 参加者 19社・23名
	10月22日～23日 (株)IHIエアロマニュファクチャリング(長野県)及び(株)IHIターボ・新町工場(長野県)の視察 参加者 8社・11名
	12月20日 テーマ 「民間航空エンジン整備事業の展開」 参加者 19社・21名

事業名	実績
航空機産業参入研究会	3月11日 テーマ 「航空機部品受注のための基本的な考え方、取り組み方（実践研究会）」 参加者 6社・7名
I o T導入支援	3月20日 テーマ 「航空機産業におけるI o T導入と製造現場の可視化事例」 「中小企業のI o T導入事例」 参加者 23名

② マッチング支援

航空機産業への参入を促進するために、販路開拓につながる国内外の展示会への出展を支援したほか、航空機メーカー等とのマッチングを実施した。

展示会名	実績
国際航空宇宙展2018東京	11月28日～30日 出展企業 7社 商談件数 46件
エアロマート・トゥールーズ2018	12月5日～6日 出展企業 3社 商談件数 29件
彩の国ビジネスアリーナ2019	1月30日～31日 出展企業 7社 商談件数 14件

事業名	実績
SAFRAN Aero Boosters (ベルギー) 招へい	7月24日 参加企業 1社 商談件数 1件
福爾摩沙航太有限公司 (台湾) 招へい	9月18日～19日 参加企業 4社 商談件数 4件
SAFRAN社(仏) 招へい	10月18日 参加企業 1社 商談件数 1件
SAFRAN Aero Engines Villaroche (仏) との集団マッチング	12月7日 参加企業 3社 商談件数 3件
SAFRAN Aero Engines Cobeil (仏) との集団マッチング	12月7日 参加企業 3社 商談件数 3件
SAFRAN Aero Boosters (ベルギー) とのマッチング	12月10日 参加企業 1社 商談件数 1件
SAFRAN Transmission Systems (仏) とのマッチング	12月11日 参加企業 1社 商談件数 1件
(株)ウラノとの集団マッチング	3月25日 参加企業 5社 商談件数 5件

③ 航空機関連資格取得支援

航空機部品を製造する際に必要な国際的な認証資格(J I S Q 9 1 0 0、N a d c a p)の取得を促進した。

J I S Q 9 1 0 0 認証取得助成金交付候補指定

1社

④ 一貫受注体制の構築支援

企業のグループ化による一貫受注体制の構築支援を実施した。

埼玉県航空・宇宙産業一貫生産体制構築支援事業助成金交付 3件

(3) 海外展開支援

① 中小企業国際化支援

ア 海外事業相談 517件

実務経験豊富なアドバイザーによる貿易投資相談（毎週 火・水・木曜日）、埼玉県上海ビジネスサポートデスクなど埼玉県が海外に設置する支援拠点への取次相談、職員等による相談など企業の海外展開に関する様々な相談を行った。

イ セミナー・交流会・研究会等の実施

グローバル市場で勝てる中小企業を育成するため、埼玉国際ビジネスサポートセンターが長年培ってきたネットワークを活かし、交流会や情報交換会等を開催し、中小企業間及び中小企業と支援機関との連携を強化することで、中小企業の国際競争力の向上を図った。

(ア) 国際ビジネスセミナー 16回 参加者合計598人

開催期日	セミナー名	参加者数
7月 4日	インドネシア経済セミナー	47人
7月25日	中国経済セミナー	55人
8月 3日	中小企業のための貿易実務基礎セミナー	29人
11月20日	タイ経済セミナー	39人
11月29日	加工食品輸出セミナー	36人
12月14日	ベトナム経済・人材活用セミナー	75人
1月18日	EPA活用セミナー	54人
1月24日	「世界・アジア・日本経済の現状と今後の見通し」 セミナー	57人
2月 4日	インド経済セミナー	61人
2月13日	加須市商工会海外展開セミナー	3人
2月20日	海外高度人材活用セミナー	38人
2月27日	メキシコ経済セミナー	45人
3月 1日	これからの人材活用セミナー	6人
3月12日	企業の外国人材活用セミナー	7人
3月13日	台湾経済セミナー	28人
3月26日	寄居町商工会、小川町商工会との商工団体等との 連携支援セミナー	18人

(イ) 企業間交流会の開催

開催期日	内 容	参加者数
11月22日	エクセレントカンパニー交流会	43人

(ウ) 国際情勢勉強会等 14回 参加者483名

中国情勢情報交換会と国際情勢勉強会を実施し、県内企業の国際競争力の強化、経営のアドバイス、ネットワーキング構築を支援した。

国際情勢勉強会（愛知淑徳大学 真田教授を囲む会） 11回 参加者398名

中国事情情報交換会（孫会長を囲む会） 3回 参加者 85名

(エ) 中小企業海外展開研究会「輸出塾」 10回 参加者合計97名

輸出を目指す企業による研究会「輸出塾」「フード輸出塾」を設置し、ワークショップなど実践的な勉強会や情報交換を実施した。

ウ 海外での現地支援事業

埼玉県が県内企業の海外展開を支援するため中国、ベトナム、タイに設置しているサポートデスクや、国内外に配置しているマッチングコーディネータと連携し、中国・アセアン市場進出等を支援した。

概 要	取次件数	主な取次内容
サポートデスクとの連携	72件	取引先発掘・紹介 22件 情報提供 28件 日本からの輸出 8件 など
マッチングコーディネータとの連携 (対象国等：インドネシア、香港)	4件	取引先発掘・紹介 4件

エ 海外ビジネスメンターの派遣 派遣先企業数4社 派遣回数5回

海外ビジネスに取り組もうとする中小企業経営者に対し、海外ビジネスに成功している企業経営者を派遣し、アドバイスを行った。

② マッチング支援

今後の経済成長が見込まれる中国・アセアン等新興国においてビジネス展開できるよう支援するとともに、市場の拡大が期待される航空機産業分野への販路開拓を支援した。

ア 海外での展示商談会出展支援

(ア) 埼玉県フェア in 香港そごう&ミニ商談会の開催

期 間：8月15日～21日

場 所：中国（香港）

参加企業：7社、商談件数：43件

(イ) 台湾医療技術交流会の開催

期 間：11月1日～3日

場 所：台湾

参加企業：3社、商談件数：24件

- (ウ) インドネシア技術交流会の開催
期 間：1月16日～18日
場 所：インドネシア（ジャカルタ）
参加企業：6社、商談件数：37件
- (エ) 台湾技術交流会（環境機器）の開催
期 間：3月11日～12日
場 所：台湾
参加企業：4社、商談件数：21件
- (オ) 富士見市商工会と連携した商談会開催支援
期 間：7月10日
1月13日～14日
場 所：台湾
参加企業：2社、商談件数：3件
- (カ) 上尾商工会議所と連携した商談会開催支援
期 間：12月7日
場 所：台湾
参加企業：3社、商談件数：12件

- (キ) エアロマート・トゥールーズ 2018 等出展支援
期 間：12月5日～11日
場 所：フランス、ベルギー
参加企業：3社、商談件数：37件

イ 国内での海外企業とのマッチング支援

- (ア) 彩の国ビジネスアリーナ2019出展支援
期 間：1月30日～31日
開催場所：さいたま市（さいたまスーパーアリーナ）
参加企業：13社、商談件数：791件

③ JAPAN ブランド育成支援事業

スペインのバスククリナリーセンターでの埼玉の食ワークショップを通じて、埼玉県の食と食文化に関心を持ってもらい、内外に発信した。現地キーパーソンとの信頼関係やネットワークの構築につなげた。

- ア 「埼玉の食」ブランド育成調査事業
期 間：2月4日～7日
場 所：スペイン（バスク地方）
参加企業：5社

4 新産業振興

(1) 先端産業支援

先端産業に関する総合相談や開発動向等の紹介を行う「先端産業支援センター埼玉」を運営するとともに、医療イノベーション、新エネルギー、ロボット、ナノカーボンの各分野のプロジェクト等を実施することで、先端産業分野に取り組む企業を総合的に支援した。

① 先端産業支援センター埼玉の運営

「先端産業支援センター埼玉」にコーディネータ、アドバイザーを配置し、技術指導、企業マッチング、補助金の活用などの総合相談を実施するとともに、「埼玉県先端産業創造プロジェクト」の取組状況や開発動向等を紹介する展示コーナーを運営した。

内 容	実 績
相談件数	2, 178件
展示コーナー見学者数	8, 692人

② 医療イノベーション事業

県内ものづくり企業と医療機器メーカー、病院、大学等と連携しながら医療現場のニーズに即した新たな医療機器等の開発や医療機器産業への参入を目指す企業を支援した。

ア 総合相談の実施

- (ア) コーディネータの配置 7名
(イ) 相談件数 1, 080件

イ 医療機器三者連携開発モデル構築事業

「医療機関」(ニーズ)、「ものづくり企業」(開発)、「製販企業」(マーケティング)の三者の連携による「売れる」医療機器の開発を支援した。

(ア) 三者連携構築のためのニーズマッチング

開催日	ニーズ提供医療機関	参加者数
10月25日	ニーズマッチングin埼玉赤十字病院	109人
11月29日	ニーズマッチングin埼玉県立がんセンター	72人
12月18日	ニーズマッチングin埼玉医科大学総合医療センター	72人

(イ) 展示会・商談会

3月14日 埼玉医療機器製品事例等成果発表会 14社

ウ 医療機器開発支援セミナー 2回開催

開催日	内 容	参加者数
6月15日	・医療関連産業の振興に向けた取り組み ・医療機器産業への参入障壁を乗り越えるには ・医療機器の開発経験からみえた苦労と魅力	69人
11月16日	・ISO13485入門セミナー ・医療機器の安全試験、電磁環境試験の概要説明	42人

エ 遠隔医療機器研究会 3回開催

開催日	内容	参加者数
7月10日	・遠隔医療について ・遠隔医療を取り巻く現状と課題	70人
10月5日	・内外の遠隔医療の実施例と求められる医療機関のニーズ	35人
12月5日	・遠隔医療の制度的課題と将来展望 ・遠隔医療～北欧での導入事例 ・ICTの発展と遠隔医療／介護機器	41人

オ 展示会・学会への出展支援

開催日	内容	参加企業数
4月18日～20日	Medtec Japan 2018 (東京ビッグサイト)	11社
7月6日～7日	第44回日本骨折治療学会 (岡山コンベンションセンターほか)	2社
7月12日～13日	第50回日本動脈硬化学会総会・学術集会 (大阪国際会議場)	1社
8月4日～5日	第40回日本呼吸療法医学学術集会 (東京ドームホテル)	1社
10月25日～26日	第51回日本甲状腺外科学会学術集会 (横浜ベイホテル東急)	1社
11月2日～4日	第2回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 (仙台国際センター)	1社
11月20日～22日	Hospex Japan 2018 (東京ビッグサイト)	4社
11月22日～24日	第80回日本臨床外科学会総会 (グランドプリンスホテル新高輪)	1社
12月6日～8日	第31回日本内視鏡外科学会総会 (マリンメッセ福岡)	1社
1月30日～31日	彩の国ビジネスアリーナ2019 (さいたまスーパーアリーナ)	3社
2月9日～10日	第5回日本医療安全学会 (東京大学 本郷キャンパス)	1社
2月20日～22日	第9回ヘルスケア・医療機器開発展 (インテックス大阪)	5社
2月22日～23日	第34回日本環境感染学会総会・学術総会 (兵庫医科大学)	1社
3月1日～3日	第46回日本集中治療医学会学術集会 (国立京都国際会館)	1社

③ 次世代住宅参入促進事業

県内中小企業と住宅メーカー、大学等との連携による住宅用創エネ・省エネ・蓄エネの製品・技術の研究開発を支援した。

ア 総合相談の実施

- (ア) コーディネータの配置 4名
(イ) 相談件数 424件

イ 次世代住宅産業プロジェクト

平成26年度から28年度までの期間で実施したプロジェクト（1次エネルギー削減目標▲50%）と、平成29年度から30年度までの期間で実施する、以下の（ア）から（エ）までのプロジェクト（同▲50%）を併せて「ゼロエネルギー住宅」を目指した。

(ア) 自然エネルギー運用技術と連動する省エネ装置の開発

居住者の行動を学習する機能を持たせ、生活パターンに合わせた省エネ動作を自動で行う装置

4社・1大学・2研究機関が参加 技術開発部会を6回開催

(イ) 高効率マルチ出力電源装置の開発

太陽光発電を含む電源の入出力とバッテリーの充放電量をコントロールし、高効率な運用を実現する装置

4社・1大学・1研究機関が参加 技術開発部会を6回開催

(ウ) 太陽光・熱ハイブリッド型パネルの開発

太陽光発電と太陽光集熱器の一体型パネル

5社・1大学・1研究機関が参加 技術開発部会を6回開催

(エ) 高効率床暖房システムの開発

加熱範囲のきめ細かい ON/OFF 制御と高速加熱を可能にした薄型ヒーターパネル方式の床暖房

5社・2大学・1研究機関が参加 技術開発部会を6回開催

(オ) 技術開発研究会

テーマ名	開催日	参加者数
・自然エネルギー運用技術と連動する省エネ装置の開発 ・高効率マルチ出力電源装置の開発 ・太陽光・熱ハイブリッド型パネルの開発 ・高効率床暖房システムの開発	10月 3日	88人
	2月26日	84人

(カ) 先端技術等標準化の支援

直膨式地中熱ヒートポンプシステム、太陽光・熱ハイブリッドパネルの製品性能の評価方法についての標準化を図るため、開発企業の技術担当者に対して標準化作業上の必要な支援と進捗管理などを行った。

標準化準備委員会を1回開催、ワーキンググループを1回開催

④ ロボットプロジェクト推進事業

成長が見込まれるロボット分野における新たな技術の研究開発や実用化・製品化を支援した。

ア 総合相談の実施

- (ア) コーディネータ等の配置 4名
(イ) 相談件数 238件

イ 分野別研究会

- (ア) リハビリ・介護ロボット研究会 2回開催
(イ) 農業ロボット研究会 9回開催
(ウ) ロボットビジネス実践講座 4回開催
(エ) ロボティクスシーズマッチング 2回開催

大学等の持つ最先端のロボット関連技術シーズと企業のものづくり技術とのマッチングを通じて、県内企業のロボット産業への参入を支援した。

開催日	シーズ提供大学	参加者数
7月24日	日本工業大学	97人
2月27日	電気通信大学	48人

⑤ ナノカーボンプロジェクト推進事業

今後様々な応用製品が期待されるナノカーボン分野の研究開発等を支援した。

ア 総合相談の実施

- (ア) コーディネータ等の配置 3名
(イ) 相談件数 270件

イ ナノカーボン人材育成事業

- (ア) ナノカーボン研究会（3テーマ） 全12回
(イ) ナノカーボン人材育成セミナー 全2回

⑥ ナノカーボン表面処理技術開発プロジェクトの推進

CBC（低温黒色クロメート）にCNT（カーボンナノチューブ）の熱伝導性や電導性の特徴を付加し、様々な分野での活用が期待される表面処理技術の実用化に取り組んだ。

開催日	内容
5月15日	第1回開発推進委員会
8月1日	第2回開発推進委員会
11月5日	第3回開発推進委員会
2月7日	第4回開発推進委員会

⑦ 炭素繊維強化熱可塑性樹脂素材（CFRTP）プロジェクトの推進

新タイプのCFRTP基材を開発し、材料特性を活かしたドローン回転翼の実用化に取り組んだ。

開催日	内容
6月29日	第1回開発会議
9月26日	第2回開発会議

開催日	内容
12月25日	第3回開発会議
2月21日	第4回開発会議

(2) 中小企業IoT活用支援

県内ものづくり企業等のIoT活用に関する相談に応じるためIoTコーディネータを3名配置するとともに、IoT活用の最新情報及び活用事例を紹介するセミナー等を実施した。

① IoT活用に向けた支援

ア 総合相談の実施

(ア) IoTコーディネータの配置 3名

(イ) 相談件数 344件

イ IoT活用推進協議会の設置・開催 3回

ウ IoT普及セミナーの開催

IoTに関する最新技術動向や活用事例を紹介するセミナーを開催した。

開催日	テーマ	参加者数
4月13日	「経済産業省のIoT関連施策について」 「H30年度公社IoT・AI活用支援事業紹介」	70人
6月28日	「工場のIoTは何ができる？どうすれば実現できる？」～FANUC MT-LINKi～ 「平成29年度IoT補助金で導入したIoTシステム成果発表」	64人
9月6日	【川越開催】 「IoTの基礎知識・IoT活用事例紹介」 「IoTの技術・関連法制度・LPWAを利用した埼玉県の構想」 「IoTの活用・導入の進め方」	57人
10月23日	【越谷開催】 「IoT活用からAI活用へ、製造業のIoT化はフェーズ2へ」 「IoT活用による現場改善活動から得られたこと」	33人
12月6日	「AIとは何か？(AI活用のヒント)」 「IoTに潜むリスクの認識と安全安心の実現に向けた対策」	41人
2月14日	【寄居開催】 「IoT活用からAI活用へ、製造業のIoT化はフェーズ2へ」 「10万円以下でIoT導入が出来た！？工作機械の運転状況自動通知システム」 「IoT活用による稼働監視と生産管理システム」	44人

エ IoT人材育成講座の開催

中小企業が自社にIoTを導入する人材を育成する講座を開催した。

開催日	内容	参加者数
6月29日～3月9日	AI・IoT若手人材育成研修（24日間研修）	32人
7月5日～6日	IoT導入実践研修①（導入担当者向け）	10人
8月23日、29日	経営者幹部向けIoT研修（経営者向け）	16人
2月19日～20日	IoT導入実践研修②（導入担当者向け）	20人

② スマート工場化支援

IoTシステムの導入を促進するため、構築経費の一部を補助した。

採択企業	テーマ
(株) 小泉塗装工業所	電着塗装における生産管理のIoT化で生産性向上
(株) G. W. Japan	IoT機器導入による生産状況の見える化及び取得データ分析と実原価の把握
権田酒造 (株)	IoTを活用したデータ分析、蓄積による清酒製造技術の伝承
(有) ワイ・エム・キャスト	設備の稼働状況を可視化しての生産性向上と、リモートコントロール化の導入
(株) モード工芸	マネキンの生産性向上に向けた顧客へのVR（仮想現実）環境の提供
ポリコール興業 (株)	工程を効率化・確実化する為に、基幹システムと計量器のIoT化を目指す。
司ゴム電材 (株)	IoT活用の企業連携で設備故障による生産遅延「Zero化」事業

(3) 産学連携支援

県内中小企業の新製品・新技術開発、新規産業への参入促進、技術競争力の強化を図るため、「産学連携支援センター埼玉」を運営し、中小企業からの産学連携相談、大学・研究機関とのマッチング、競争的資金の獲得など、産学連携に係る総合的支援を実施した。

① 産学連携相談等の実施

「産学連携支援センター埼玉」にコーディネータを配置し、県内中小企業からの産学連携相談に応じるとともに、産学連携ネットワークマネージャーを配置し、大学・研究機関とのマッチング、共同研究体の形成や競争的資金の獲得などの支援を実施した。

内容	実績
産学連携相談件数	1,011件
マッチング支援数	172件
産学共同研究取組支援数	57件
競争的資金獲得支援数	48件 (うち獲得件数22件)

また、中小企業を対象としたセミナーを開催し、補助金等に関する最新の情報提供を実施した。

開催日	テーマ	内容	参加者数
3月18日	産学連携支援セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・経済産業省による公募型競争的資金の最新情報とポイント ・ものづくり補助金の申請書作成の留意点とポイント ・補助金活用企業による事例発表 	53人

② 産学連携支援ネットワーク事業

県内で産学連携に取り組む機関から構成される埼玉県産学連携支援ネットワーク会議を運営し、情報交換や県内中小企業を対象としたセミナーを実施した。

開催日	テーマ	内容	参加者数
6月29日	第1回産学連携支援ネットワーク会議「総会」	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業報告 ・平成30年度事業計画 ・構成機関における平成30年度産学連携事業 	41人
6月29日	第1回産学連携技術シーズ発表会「防災・安全」	<ul style="list-style-type: none"> ●講師：(国研) 理化学研究所 光量子工学研究センター 中性子ビーム技術開発チームチームリーダー大竹淑恵氏 演題：「理研小型中性子源(RANS)で見える、安全・安心」 ●講師：東京電機大学 理工学部 理工学科 機械工学系 准教授 古屋 治氏 演題：「産業施設における機器・配管の耐震対策に関する研究」 ●講師：日本大学 理工学部 土木工学科 助教 小田 憲一氏 演題：「土砂・雪崩のソフト対策を目的とした数値シミュレーションの開発」 ●講師：埼玉大学 大学院理工学研究科 数理電子情報部門 工学部情報工学科 准教授 小室 孝氏 株式会社テクノスコープ 代表取締役 白川 進氏 演題：「画像処理の産業利用および非破壊検査に必要なトンネル内等の巨大画像用記録装置と省エネ照明装置の開発」 	68人
9月13日	第2回産学連携支援ネットワーク会議「連絡会議」	<ul style="list-style-type: none"> ●平成30年度 第1回 産学連携技術シーズ発表会の実績報告について ●発表会・交流会参加大学機関のご意見ご感想について ●第2回 産学連携技術シーズ発表会のテーマ案について ●産学連携フェア2019について 	33人

開催日	テーマ	内容	参加者数
11月29日	第2回産学連携技術シーズ発表会 「食ビジネス」	<ul style="list-style-type: none"> ●講師：芝浦工業大学 システム理工学部 生命科学科 教授 福井 浩二 氏 演題：「農作物のアンチエイジング効果による高付加価値化の実現」 ●講師：東洋大学 食環境科学部 健康栄養学科 准教授 太田 昌子 氏 演題：「生活習慣病の危険因子ホモシステインを低下させる食品機能性成分の探索」 ●講師：埼玉工業大学 工学部 生命環境化学科 講師 秋田 祐介 氏 演題：「食用としての花の可能性」 ●講師：埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 食品・バイオ技術担当 主任 飯塚 真也 氏 演題：「普及型水蒸気透過度測定装置の開発」 ●講師：東京電機大学 工学部 応用化学科 教授 鈴木 隆之 氏 演題：「測定液を汚さずに最適なリアルタイムモニタリング可能なpHセンサフィルムの開発」 ●講師：埼玉大学 教育学部 食品学研究室 准教授 上野 茂昭 氏 演題：「高圧食品加工と産学連携事例」 	69人
12月20日	第3回産学連携支援ネットワーク会議 「連絡会議」	<ul style="list-style-type: none"> ●第2回産学連携技術シーズ発表会実施報告について ●発表会・交流会参加大学機関のご意見ご感想について ●産学連携フェア2019について ●第3回産学連携技術シーズ発表会について ●産学連携の成果・事例について 	36人
2月22日	第3回産学連携技術シーズ発表会 「レーザー技術」	<ul style="list-style-type: none"> ●講師：理化学研究所 光量子工学研究センター 光量子制御技術開発チーム チームリーダー 和田 智之 氏 演題：「最新のレーザー活用技術について」 ●講師：上智大学 理工学部 機能創造理工学科 教授 下村 和彦 氏 演題：「シリコン基板上化合物半導体レーザー集積化技術」 ●講師：理化学研究所 光量子工学研究センター 先端レーザー加工研究チーム 研究員 小幡 孝太郎 氏 演題：「位相制御技術とフェムト秒ベッセルビームによる高品質・高アスペクト比加工の開発」 	61人

開催日	テーマ	内 容	参加者数
		<ul style="list-style-type: none"> ●講師：日本大学 理工学部 電子工学科 教授 塚本 新 氏 演題：「超短パルスレーザー利用超高速磁気現象計測と制御」 ●講師：サイバーレーザー（株） 代表取締役 関田 仁志 氏 演題：「超短パルスレーザーによる表面微細加工への取り組み」 ●講師：（株）メガオプト 高田 弘之 氏 演題：「波長可変レーザーの実用化」 	
3月12日	第4回 産学連携支援 ネットワーク 会議 「連絡会議」	<ul style="list-style-type: none"> ●平成30年度 第3回 産学連携技術シーズ発表会の実績報告について ●発表会・交流会参加大学機関のご意見ご感想について ●産学連携フェア実績報告について ●来年度の産学連携技術シーズ発表会について 	34人

③ 産学連携に関する情報提供、交流の促進

大学・研究機関の技術シーズの展示紹介や企業とのマッチングを行う産学連携フェアを開催するとともに、メールマガジンによる情報発信を行った。

内 容	実 績
産学連携フェア <彩の国ビジネスアリーナ2019会場内で開催> 開催日：1月30日～31日 開催場所：さいたまスーパーアリーナ 出展機関：大学13、支援機関3	来訪者数 1,821人 相談件数 723件
産学連携支援メールマガジン	配信回数 15回

(4) 知的財産支援

中小企業等の知的財産の創造・保護・活用を促進して「知的財産立県づくり」を進めるために「知的財産総合支援センター埼玉」を運営し、知的財産に係る相談業務をワンストップで行った。

① 知的財産の相談支援

知的財産に関する幅広い知識・経験を有する民間企業OBを知的財産アドバイザー（7名）、特許活用コーディネータ（1名：兼務）として配置し、相談に対応するとともに、知財普及員を1名配置し、案件の掘り起こしを行った。併せて、専門性の高い相談に対しては、弁理士・弁護士による専門相談を実施した。

また、知的財産アドバイザーによる出張相談会を県内9会場において実施した。

内 容	実 績
相 談 件 数	2, 7 5 4 件<国からの受託事業 1, 8 6 5 件を含む> (うち専門相談 5 9 件) (うち出張相談会 7 5 件) (うち知財普及員による訪問 1 1 2 件)
出張相談会開催回数	3 4 回 (川口、朝霞、川越、所沢、東松山、熊谷、春日部、越谷で各 4 回、本庄 2 回)

【相談内容（区分別）】

図 1：知的財産区分

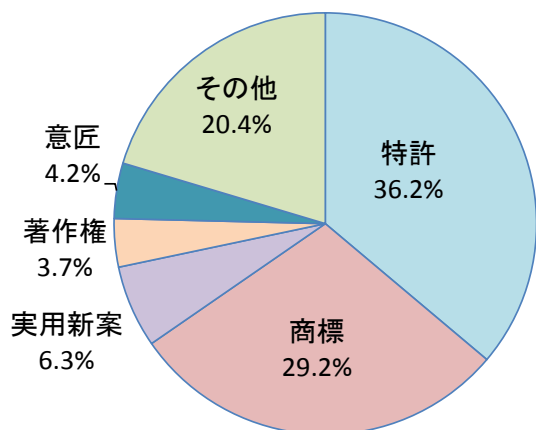
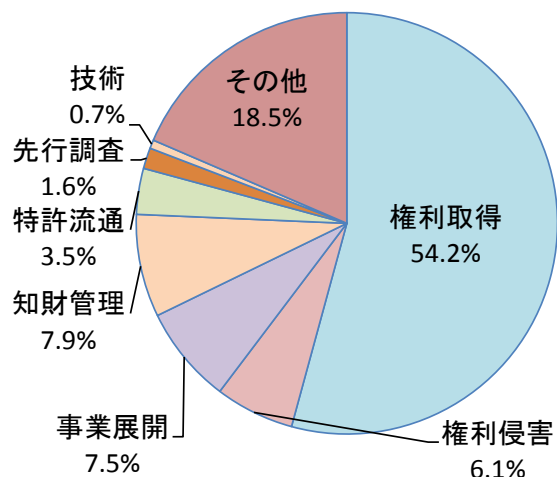


図 2：相談区分



② 知財経営促進・人材育成

ア 知財専門家の派遣

知的財産を企業経営の中で戦略的に活用するため、弁理士等を派遣して、中小企業の知的財産に関する具体的な課題の解決を支援し、有望な知的財産の創造や効果的な保護・活用を促進するとともに、中小企業の知財活用体制強化に向けた支援を行った。

支援企業数	支援回数
1 7 社	3 6 回

イ 外国出願支援事業

優れた特許等を有し、かつ、海外において戦略的に活用しようとする県内中小企業に対し、弁理士と連携を図り、外国特許庁への出願支援を行った。

国別の出願状況は、中国 9 件、米国 8 件、欧州 5 件、韓国 4 件、タイ 4 件、ベトナム 2 件、シンガポール 2 件、メキシコ 1 件、マレーシア 1 件、フィリピン 1 件、インド 1 件である。

支援企業数	内 訳
1 2 社	1 5 件 (特許 1 0 件、商標 4 件、意匠 1 件)

ウ 企業内知財人材養成講座

中小企業において、知財経営推進の核となる知財人材を養成するため、訪問による講座を実施した。

具体的には、知財の基本事項、特許情報プラットフォーム (J-P l a t P a t) の活用方法、知財戦略等を講座の内容とした。

支援企業数	支援回数
6 社	3 0 回

エ 各種セミナー

知的財産に関する啓発や知識の向上を目的に、関係機関等と連携して知財経営セミナー、知財入門セミナー等を合計4回開催した。

開催日	内容	参加者数	共催
10月5日	【知財経営セミナー】 「商標権侵害とその対応策」	79人	広域関東圏知的財産戦略本部 (関東経済産業局)、特許庁、 埼玉県
2月8日	「会社の秘密守れていますか」	35人	
9月25日	【知財入門セミナー・地域】 知的財産セミナー 「売れる儲かる商標のコツ」 <さいたま会場>	15人	日本弁理士会関東支部
10月26日	「第2回ビジネスに役立つ商標 の知識」 <新座会場>	8人	

オ 特許活用情報セミナー

開放特許を活用することで具体的な成果を挙げた事例を紹介するセミナーを開催すると共に、大手メーカーが保有する開放特許の説明会及び個別面談を実施した。

開催日	内容	参加者数
11月13日	【特許活用情報セミナー】 演題：「儲けの近道」 講師：ディスプレイ株式会社 代表取締役社長 桑原 良弘 氏	41人
2月13日	【開放特許マッチングinさいたま2019】 開放特許の説明会 キューピー(株)、富士通(株)、 (株)イトーキ 個別面談マッチング件数	45人 14件

③ その他

ア 知財総合支援窓口設置事業

独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）から窓口運營業務を受託し、知的財産に関する幅広い知識・経験を有する民間企業OBを相談対応者及び窓口支援担当者（知的財産アドバイザーを兼ねる：7名）として配置し、知財に関する総合相談に対応した。

【再掲】

内容	実績
相談件数	1,865件

イ 埼玉県発明協会受託事業

（一社）埼玉県発明協会と業務委託契約を締結し、「児童生徒発明創意くふう展」をはじめとした事業に係る業務の一部を実施した。

(5) 次世代自動車産業支援

自動車の技術革新に伴う部品開発の転換や他産業からの新規参入が進むよう「次世代自動車支援センター埼玉」を運営し、自動車の電動化・軽量化等に伴う技術開発、製造現場の改善、国内外の自動車メーカー等への販路開拓の促進など総合的な支援を実施した。

① 技術等に関する総合相談

「次世代自動車支援センター埼玉」にコーディネータを4名配置し、県内自動車関連企業からの自動車技術に係る相談にワンストップで応じるとともに、新技術・新製品開発の「きっかけづくり」から研究開発を促進するための公的競争的資金獲得支援まで総合的な支援を実施した。

内 容	実 績
技術等に関する相談件数	901件
技術マッチング件数	209件

② 自動車技術に関する研究開発の支援

ア 新製品・新技術研究会

自動車の電動化などに対応した部品開発の転換や、電機関連メーカー等の新規参入を支援するため、モータやパワーエレクトロニクス、軽量化技術に関する研究会を開催した。

(ア) モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会 (参加企業18社)

開 催 日	テーマ	参加者数
6月13日	「次世代自動車産業のメガトレンド分析」 「自動車の電動化拡大に向けたニーズ」	73人
9月4日	「VC-TURBO 可変圧縮比機構とそのモータ制御の紹介」 「プラグインハイブリット車用電動パワープラントの開発」	39人
11月16日	「FCV・水素供給インフラの現状と取組み」 「水素貯蔵の重要性と水素貯蔵材料の新たな取組み」	37人
2月6日	「自動車電動化コンポーネント技術の要点と将来課題」 「WBG パワー・デバイスを使用した短時間過負荷対応モジュール」	47人

(イ) 軽量化研究会 (参加企業22社)

開 催 日	テーマ	参加者数
6月6日	「3Dプリンティングの基礎とその将来動向」 「最新の3Dプリンターと活用事例」	24人
8月30日	「金属積層造形技術の応用と研究開発動向」 「オープンパラメータを活用した金属粉末の調達と独自技術」	27人
12月4日	「補強材としてのガラス繊維の未知なる魅力」 「熱可塑性樹脂添加剤モスハイジについて」	19人
2月12日	「自動車のマルチマテリアル化における CFRP の動向と今後への期待」 「CFRTP の基材開発の動向と応用」 「新開発水系ウレタン含浸法 CFRTP のご紹介」	44人

(ウ) 先端材料研究開発コンソーシアムの構築

全国中小企業団体中央会が実施する「ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業」を活用し、先端材料を開発するコンソーシアムによる研究開発を支援した。

テーマ：企業連携による連続炭素繊維補強熱可塑性樹脂複合材用基材の開発 補助額 9, 115千円
--

イ 技術講演会

自動車関連産業の最新技術動向や新しいビジネス分野の情報提供として講演会を開催した。

開催日	内容	参加者数
10月22日	第1回次世代自動車技術講演会 「自動車産業を巡る状況と対応の方向性」 「自動車産業が直面する環境変化」	32人
1月30日	自動車講演会（彩の国ビジネスアリーナ2019） 「Change the Game：知能化、電動化がもたらすモビリティの変革」	155人

③ EV化に関する調査・支援

ア 県内企業の対応状況調査

県内中小企業のEVシフトに対応するための調査を実施し、その結果を「埼玉県内中小企業のEVシフト対応に関する調査報告書」として取りまとめた。

イ EV化に関する情報収集

EV車両の代表格である「日産新型リーフ」の調査・分析を実施した。

開催日	内容	参加者数
7月30日 ～31日	日産新型リーフの試乗会 内容：走行性能と新技術確認 場所：埼玉自動車大学校	24人
9月6日 ～7日	新型リーフの分解見学会 内容：技術概要の説明と分解作業を通じた構造確認 場所：埼玉自動車大学校	164人
9月27日	新型リーフ分解部品一般公開 内容：SAITECオープンラボに併せて最新EV自動車の分解部品の展示・説明 場所：埼玉県産業技術総合センター	31人
10月2日 ～3日	新型リーフ基調講演及び分解部品確認会 内容：新型リーフの基調講演及び分解部品の確認及び説明会 場所：埼玉県産業技術総合センター	143人
10月23日 ～24日	新型リーフの分解部品一般公開 内容：最新EV自動車の分解部品を一般公開及び技術説明 場所：埼玉県産業技術総合センター	53人
3月5日	新型リーフの分解研究会報告会 内容：分解研究会活動報告及び部品解析結果報告 場所：新都心ビジネス交流プラザ会議室	55人

④ 取引拡大の支援

大手自動車メーカー及びTier 1メーカー等と新技術・新工法のマッチング会を実施した。

ア 国内における販路開拓支援

開催日	内容	実績
5月17日	(株) ミツバ技術ニーズマッチング会	4社
11月28日 ～30日	国際航空宇宙展2018東京 防衛装備庁枠	1社
12月18日	(株) ミトヨ技術マッチング会	3社
1月30日 ～31日	彩の国ビジネスアリーナ2019	11社
2月5日	防衛装備庁中小参入展示会	1社
3月6日	防衛装備庁中小参入展示会	1社
3月13日、 19日、20日	カルソニックカンセイ (株) 技術マッチング会	11社

5 人材育成・情報支援

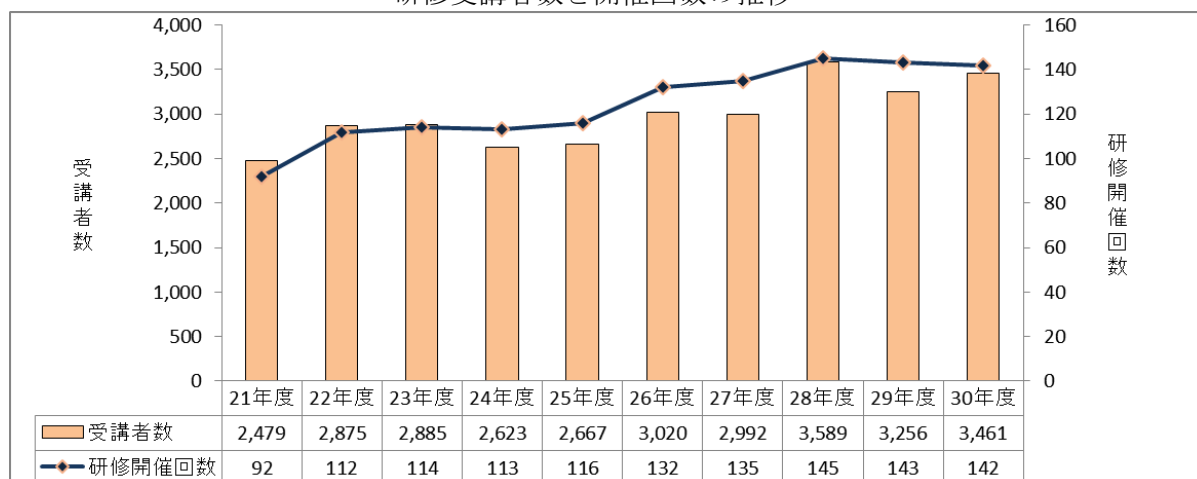
(1) 人材育成

① 研修

経営環境の変化に対応できる人材の育成を目的に、総合的かつ体系的に新入社員から経営幹部までの各層に合わせた総合力強化研修や生産性向上研修などを142回実施した。そのうち、動画を活用した現場改善、中堅社員パワーアップ、新入社員向けハウレンソウ強化などをテーマに新規研修を13回実施した。

また、申込者数が定員を超えた機械実技研修とクレーム研修、ISO9001基礎研修の3回を追加した。

研修受講者数と開催回数の推移



※オーダーメイド出前研修及び通信教育を除く

ア 総合力強化研修

(ア) 新入社員研修

新入社員を対象に、企業人としての自覚を促すとともに、仕事への取り組み方、職場の人間関係、自己啓発の進め方、企業人としての基本行動等について学ぶ研修を21回開催した。

(イ) 中堅社員研修

中堅社員を対象に、その果たすべき役割と責任を認識させるとともに、仕事の管理、問題解決、リーダーシップ等の能力向上について学ぶ研修を10回開催した。

(ウ) 管理者研修

新任管理監督者及び管理監督者を対象に、管理監督者として必要な知識、役割、リーダーシップのあり方等について具体例を通して習得する研修を4回開催した。

イ 生産力向上研修

生産現場における効率化や品質向上、安全作業などの基礎的なスキルを習得する研修を21回開催した。

ウ 実務スキル向上研修

業種業態にかかわらず実務のスキルアップに役立つ知識や技法を習得する研修を38回開催した。

エ 技能研修

県立高等技術専門校と連携し、旋盤操作や切削技術向上、設計図解読など、中小企業の製造現場で働く若手社員を対象にした技能研修を28回開催した。

オ 地域密着研修

5Sといった人気の高いテーマの研修を川越・熊谷・草加の3地域で12回開催した。

カ コンパクト研修

忙しい営業部門や管理職、経営者にも受講しやすいようにテーマを絞ってコンパクト(3時間)にまとめた営業実務に関する研修等を7回開催した。

キ プレミアム研修

講義と工場見学をセットにした5S工場視察研修を1回開催した。

ク 特別研修

(ア) オーダーメイド出前研修

個別企業のニーズに合わせた研修カリキュラムを設計し実施する出前研修を20回(28日間：延べ受講者495名)開催した。

(イ) 通信教育

社員の自己啓発及び業務遂行能力の向上を図る通信教育を(株)日本能率協会マネジメントセンターと提携して実施し、25名が受講した。

平成30年度 研修実施実績

分類		回数(回)	総日数(日)	受講者数(人)
通常 研修	総合力強化 研修	新入社員研修 21	38	828
		中堅社員研修 10	16	337

分 類		回数 (回)	総日数 (日)	受講者数 (人)	
通常 研修	総合力強化 研修	管理者研修	4	8	131
		(小 計)	35	62	1,296
	生産力向上 研修	生産管理	5	11	144
		現場改善	9	16	219
		品質管理	5	10	156
		設備保全・購買	2	3	56
		(小 計)	21	40	575
	実務スキル 向上研修	I S O	13	31	288
		企業会計	2	4	44
		技法習得	21	23	565
		人事・労務	2	3	34
		(小 計)	38	61	931
	技能研修		28	72	253
	地域密着研修		12	12	230
	コンパクト研修		7	7	155
プレミアム研修		1	1	21	
通常研修 合計		142	255	3,461	
特研 別修	出前研修		20	28	495
	通信教育		—	—	25
	特別研修 合計		20	28	520
合 計		162	283	3,981	

② 明日を担うものづくり人材育成事業

埼玉県教育局等と連携を図りながら、将来のものづくりを担う人材の育成を図った。

ア 第28回埼玉県産業教育フェア

埼玉県教育委員会、埼玉県産業文化センター等との共催により開催した。当日は、企業1社が体験コーナーに出展し、子供たちにもものづくりの楽しさを体験するイベントを実施した。

期 日：11月17日～18日

場 所：大宮ソニックシティ地下1階展示場、鐘塚公園、大宮駅西ロイベントスペース

来場者数：約18,000名

イ 高校生ものづくりコンテスト

県内の工業高校生を対象に埼玉県工業教育研究会が実施する「ものづくりコンテスト」に協賛し、上位入賞者に理事長賞を授与した。

開催日	部 門	会 場
6月 9日	旋盤作業	ものづくり大学（行田市）
6月23日	電気工事	川越高等技術専門校（川越市）
6月23日	化学分析	県立久喜工業高等学校（久喜市）
7月14日	木材加工	日本工業大学（宮代町）
7月26日	電子回路組立	日本工業大学（宮代町）
8月 3日	測量	県立いずみ高等学校（さいたま市）

(2) 情報支援・ICT活用サポート

① 中小企業情報提供事業

中小企業が直面している様々な経営課題などに関する情報等を収集・分析・加工し、インターネットや情報誌、セミナー等で迅速に提供した。

ア 月刊情報誌の発行

公社事業を広く紹介するのをはじめ、県内の企業紹介や法律、税制、国際化など経営に役立つ情報を幅広く、タイムリーに提供した。

情報誌「アクセス埼玉」の発行 12回

(A4判20ページ 3,000部発行)

イ アクセス埼玉文庫の発行

「現場改善 ムダ取りの基本」シリーズ1～5巻を合計99冊頒布した。

ウ 企業経営座談会の開催

開催日	内 容
11月21日	テーマ：「IoT導入企業による座談会」 出席者：関口産業株式会社 代表取締役 堀井 重宏 様 株式会社大王製作所 代表取締役 田代 肇 様 有限会社大宗製作所 代表取締役 大畑 宗浩 様 株式会社TMC 取締役 和田 昇次 様 司 会：公社 IoTコーディネータ 山脇 隆司 月刊誌掲載：平成31年1月号

エ 賞与予測調査の実施

県内中小製造業を対象とした賞与予測調査を実施し、その結果を公表するとともに経営情報として提供した。

事 業 名	実 績	概 要
賞与予測調査の実施	2回	製造業 2,000社対象 有効回答率 夏季19.0% 冬季18.3%

オ 会員優待セミナーの開催

公社会員サービスの一環として、話題の最新情報や中小企業の経営課題にスポットを当てたセミナーを8回実施した。

開催日	テーマ	参加者数
5月23日	人材採用ノウハウセミナー	49人
8月8日	外国人労働者活用入門セミナー	46人
9月11日	ゼロから始める働き方改革対応（ICT編）セミナー	20人
10月15日	与信管理入門セミナー	43人
11月26日	人事評価セミナー	56人
12月10日	ISO45001（労働安全衛生マネジメントシステム）セミナー	17人
1月25日	中途採用セミナー	40人
2月6日	働き方改革実践入門セミナー	32人

カ 公社会員等交流事業

公社会員企業相互の交流と企業間ネットワークづくりを促進するため、経営者、後継者、経営幹部が一堂に会する講演会及び情報交換会を実施した。

開催日	事業名	内容	参加者数
3月4日	公社会員感謝の集い	テーマ：「箸一膳、畳一畳の店からつかんだ勝利の鉄則」 講師：箸匠せいわ 会長 木越和夫 氏	104人

公社会員数の推移

(単位：社)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
公社会員数	1,316	1,356	1,377	1,413	1,417

(平成30年度における入退会の状況)

新規入会	退会	会員数増
74	70	4

キ DVD・ビデオソフトの貸出

経営や技術、人材教育などに関するDVD・ビデオソフト等を整備し、企業への貸出サービスを行った。

事業名	貸出実績	新規購入状況
DVD・ビデオソフト貸出	145社 延べ481本	22本 コンプライアンス、ハラスメント、働き方改革、トラブル回避のための人事労務知識、セールスコーチング、フィードバック入門、営業実践心得、経営・財務戦略など

② ICT活用サポート事業

中小企業の情報化を促進するため、ICTコンサルティングやICT窓口相談、地域連携ICTセミナー、ビジネスソフト研修等を実施した。

ア ICTコンサルティング事業

県内中小企業をIT専門家とともに訪問し、企業ホームページのアクセス数向上やSEO対策等のテーマで5社（延べ9回）にコンサルティングを実施した。

イ ICT窓口相談事業

中小企業が抱えるICTの課題や悩みについて専門家によるICT窓口相談を2社に実施し、課題解決を図った。

ウ ウェブのお悩みサポート

ウェブサイトの制作者を中小企業1社に紹介し、ウェブの悩みに対応した。

エ 地域連携ICTセミナー事業

商工団体と連携してITセミナーを2回実施した。

開催日	テーマ	参加者数	共催
12月21日	デジカメやスマホを使った写真撮影セミナー	16人	行田商工会議所
1月23日	初心者向け動画制作セミナー	25人	狭山商工会議所

オ ICTスキルアップ研修

利用頻度の高いビジネスソフト（表計算・プレゼンテーション・データベース）やインターネットを有効活用するための講座を25テーマ、38回開催した。

講座名	回数	受講者数
エクセル関連（7テーマ）	15回	207人
パワーポイント（2テーマ）	2回	28人
アクセスデータベース（2テーマ）	3回	39人
ホームページ作成関連（5テーマ）	5回	56人
デザインソフト関連（2テーマ）	5回	44人
営業力アップ関連（3テーマ）	4回	54人
コンパクト（4テーマ）	4回	60人

カ バックリンク支援事業

公社ホームページにバックリンク専用サイトを構築し、中小企業のホームページのSEO対策を支援した。

リンク企業数 1, 143社

③ 公社内ICT管理事業

ア 公社内ICT管理

大宮事務所と北与野事務所間のネットワーク、公社共通企業データベース及びグループウェア（サイボウズ）の管理・運用により、公社内の情報共有を推進した。

イ インターネット情報提供

公社実施事業をより積極的にPRするとともに企業経営に役立つ情報の提供に努めた。

公社ホームページ	アクセス数1, 337, 309件/年
公社メールニュース	配信回数24回(毎月2回) 登録者数4, 336人

6 その他

① 投資育成事業

平成16年度に統合した(財)埼玉県創造的企業投資育成財団サファイック(SAFIC)の事業を引き継いで実施しており、地域中核企業投資育成事業の投資先企業2社、ベンチャー企業投資育成事業の投資先企業2社に対して経営支援を行った。

ア 投資先企業等への支援

事業名	実績	概要
フォローアップ事業	16回	地域中核企業2回、ベンチャー企業14回 個別訪問等によるフォローアップを実施

イ 投資概要

(平成31年3月末現在)

事業名	企業数	投資残高
地域中核企業投資育成事業	1社	直接投資 1社 9, 100千円

直接投資：SAFICが投資の可否を決定し、当該企業の社債を直接引き受け、又はSAFICが当該企業の第三者割当増資を引き受ける形式(株式投資)により投資したもの。

② その他

ア 職員の能力開発

公社職員の専門能力の向上を図るため、各種専門研修や公社実施の研修講座への参加を促した。

また、若手職員を対象として、製造業等の支援の際に必要な現場感覚を磨くため、機械加工の基礎知識を学ぶ「MONOづくり塾」を開催した。

イ 公社管理運営

業務改善の横展開を図るとともに、公社職員の業務改善の意識を高めるため、改善事例発表会を開催した。

また、学生の就業意識の向上を図るためインターンシップの受入れを行った。

ウ 貸与事後処理

設備貸与事業の償却債権について、債務者又は連帯保証人に対して電話又は訪問による継続的な督促を行って回収に努めた。